

高緑の風

No. 19
千葉県立市原緑高等学校
0436 (75) 0600
発行日 7月16日

●充実のキャンプ実習

本校のスポーツ健康コースでは、二年次の一月に二泊三日のスキー実習、また、三年次にはキャンプ実習を行っています。キャンプ実習は、三年A組の四十名参加のもと、六月二十三日から二十五日までの二泊三日、山梨県本栖湖にある「憩いの森キャンプ場」で行われました。日程概要と生徒の感想を紹介します。

一日目は、学校出発、富士緑の休暇村にてウォークラリー実施。憩いの森キャンプ場にて飯盒炊さん等実施。二日目、三つ峠山登山を実施。三日目、本栖湖畔サイクリング、氷穴見学の後、キャンプ場を出発し、学校帰着。

「登山の達成感」 今関 大我

キャンプ実習二日目は、山登りを行いました。三つ峠山という山を登るのですが、登るだけで四時間もかかるという厳しいものでした。この山登りは自分が想定していた何倍も辛く、何度も心が折れそうになりました。しかし、辛いのは皆同じで、皆頑張っているのだから自分も頑張ろうという気持ちになり、クラスメイトと話をしたり、励まし合ったりしながら歩き続け、なんとか山頂にたどり着きました。山頂の空気はとても美味しく、今までに味わったことのない達成感を感じることができました。



滝の前でパチリ！

「キャンプの思い出」 山中 亜実

一日目のウォークラリーは土砂降りの雨の中、ずぶ濡れになりながらのゴール。二日目の登山はきついものでしたが、きれいな本栖湖のサイクリングは、快晴の下、気持ち良く楽しく走ることができ、その後のバーベキューもとても美味しかったです。今回、いろいろな経験をすることができました。キャンプ実習は辛く、大変なこともありましたが、皆で協力し合って飯盒炊さん、登山、ウォークラリーなどを行うことができ、とても良い思い出ができましたと思います。クラスの団結も深まりました。

●リーダー研修会

六月二十六日(金)と七月九日(木)の二回に渡って、リーダー研修会を実施しました。ここ数年のリーダー研修会は、生徒会役員や各クラスのリーダーが集まり、緑風祭・文化の部(今年度は九月二十六日(土)に一般公開)の企画について討議したり、プレゼンテーションを行ったりしています。この研修会をとおして、より充実した緑風祭・文化の部にしていこうという気運を学校全体で高める目的で実施しています。

第一回リーダー研修会では、全体で文化の部実施要項を読み合わせて目的や規定の確認を行った上で、部門ごとに分かれ、注意点や禁止事項の確認、企画内容や販売品目についての討議を行いました。また、ここでは生徒会役員と各クラスの代表に一次企画書の内容を中心としてプレゼンテーションをしてもらいました。どのプレゼンも各クラスで考えられた工夫点が盛り込まれ、メモをとるリーダーも数多く見られました。

このように、現在、市原緑高校は緑風祭・文化の部を盛り上げるために全力で取り組んでいます。生徒会役員からは「乗客の方々が第一に楽しめるようにする」、「クラスの全員が準備や発表に関われるようにする」という方向性が示され、夏休みにも計画を立てて精力的に活動していく団体もありました。是非ご期待ください。



プレゼンテーションの様子

●真夏の熱戦！(高校野球)

七月十六日(火)、袖ヶ浦市宮球場にて、市原緑高校と市川学園高校との間で熱戦が繰り広げられました。結果は惜しくも一対五で敗れましたが、相手校五本の先行に対して一矢を報いる攻撃があり、選手の活躍を体感できる試合展開となりました。主将と応援団長の熱いメッセージを掲載します。

・野球部主将 3A 齋藤 裕樹

三年間野球部で活動していて、最後の大会に懸けていたので、とても悔しかったです。主将をやらせてもらい、最初はこのチームをどうやって引っ張っていけば良いのか、悩む時期もありました。しかし、裏を返せば今までの野球人生の中で、一番深く「野球」について考えることができた一年間でした。野球を続けて、最高の仲間に出会うことができました。本当に野球をやってきて良かったです。

・応援団長 3A 落 幸一

選手一人ひとりが高い意識を持ち、誰一人あきらめることなく戦っている姿が印象に残っています。試合後の選手たちは、笑顔で「応援ありがとう」と言ってくれました。私は、「泣きたいくらい悔しいのだろうな」と思いましたが、同時に「全力でやり切ったのだから悔いはない！」と伝えてくれているようにも感じました。



